



医療法人社団萌気会
在宅療養支援診療所 (二日町)
在宅療養支援有床診療所(浦佐)

9

Vol 352
2021/9.15

もえぎ

山本 英一

さん書

もえぎのお盆行事



地蔵の湯

通所リハビリセンター

・西瓜割り(8/3)
・夏祭り(お神輿、法被や浴衣姿でお六巻句や東京音頭 8/14)

・盆踊り大会(飯詰で長坑節 8/23)



曼陀羅華

・八色西瓜で西瓜割り(8/10)
・夏祭り(お神輿、法被や浴衣姿でお六巻句や東京音頭 8/23)



さくりの郷

・納涼祭(綿菓子、かき氷、フチケーキの屋台、的当て、千本引き、晒と法被姿でお神輿 8/10)

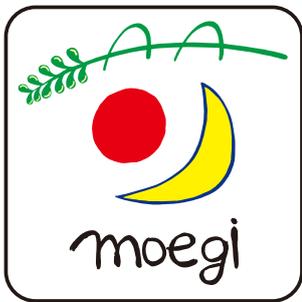
みんなの冷蔵庫

必要な食料品・日用品をご自由にお持ち帰りいただけます。

普光寺 9月1日より
社務所玄関先に設置開始



コロナ禍での子育てから思うこと 2
在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 3
漫画 黒岩卓夫一代記 4
お客様に安心してご利用していただく為に 5
普光寺に「みんなの冷蔵庫」を設置したい!プロジェクト... 6
Moegi100年プロジェクト 魚沼にもっとワクワクを 7
萌気園通所リハビリセンター浦佐 8



「コロナ禍での 子育てから思うこと」 ～こども・自然・メディア～

浦佐認定こども園 園長 坂西 美和子



当園はお陰様で創立11年目を迎えています。記念すべき10周年に“新型コロナウイルス”が猛威を振るい、今尚進化する変異株に益々のコロナ禍に！子どもは「豊かな感動体験」から学び育まれますが、感染予防策を重視・優先せざるを得ない日々の中で、思うように保育：遊びの展開が難しくなりました。園でも家庭でも言えることでしょう。こども園では日々の保育や行事等の方策を新たに考え、見直しを図りつつ全てに於いてモチベーションを下げないように「こども主体の保育」に懸命に取り組んできました。コロナ禍だからこそ一層子育てに必要な事が見え、大切な事に気付かされています。

それは何と云っても、自然体験&コミュニケーションの大切さです。自然や人と人との関わりなしでは人は人間として育たず、長い人生を自分らしく生きてはいけません。さあ～空を仰ぎ深呼吸、風を感じ、耳を澄まし、自然物を見て触れて…子どもと一緒に外へ飛び出しましょう！

まずは「曜日の体験」を！人間にとって不可欠な大切な自然ばかりです。㊸：お日さま、日向や日陰。㊹：暗闇や夜の体験。㊺：火の使い方。㊻：泥や水遊び。㊼：木・葉に触れ、棒や穴で遊ぶ。㊽：銅や鉄等の金属・金槌、ノコギリ体験も。㊾：土、砂、石。土の中の微生物・虫等との触れ合い…も。

コロナ禍の中、無理して遠方へ出かけなくても身近な所、日々の生活の中で意識し心掛け次第でご家族での会話は弾み、当たり前前に即自然体験ができるのです。それらの貴重な時間がお子さんの生きる心の糧となり原風景に…大切なご家族との絆、温かな思い出（愛着）になる事でしょう。

既に60年前にアメリカの科学者：レイチェル・カーソンは著書「沈黙の春」で環境問題をテーマに地球の危機・叫びを訴え、「センス・オブ・ワンダー」では地球・生物・全ての自然の営みの不思議・神秘的に、子どもたちが心躍らせ関心を持って目や心を向けられるように…

“知る事よりも感じる心”がいかに大切かを説いています。

さて、「感じる心の育み・自然体験での子育て」に相反しているのが「メディアでの子育て」です。メディアの魔力は凄まじくあっという間にメディア漬けに、コロナ禍では益々です。今の世、メディアは仕事にとって必需品、「生きる力」を身に着けた大人は左程問題にはなりません、幼ければ幼いほど心身に大きなダメージを与えます。常々手にはスマホ、テレビは常にON、大人も子どももゲームに夢中・毎日その様な中で育つ子どもたちは大変危険です。メディアに目や脳は勿論、心も体も蝕まれ人として壊れてしまいます。そんな恐ろしい波が確実に目の前にも押し寄せ浸透しています。メディアの害から子どもを守り、乳幼児期の愛着心の形成は大人の大事な使命・役目です。

○「テレビやゲームはOFFに！」（短時間に時間を決めて）
⇒時間に追われる毎日に必ず余裕が生まれます⇒自然の中で実体験を！

○「スマホを絵本に換えて！読み聞かせを！」（9才までは）
⇒想像力が育まれ絵本の世界を旅し大冒険：絵本の中で間接体験を！

子どもの生き生きした生活＝その全てが遊び！子どもにとって「遊ぶ」＝「育つ」＝「生きる」ことです。コロナウイルスに負けぬように、そしてその先もずっと子どもたちが子どもらしく瞳を輝かせ心身共に生き生きと思いい切り「自然と絵本」の中で遊び込めます様に…！



「プール遊びの体験で大きく成長」ほし組(4歳児)



「ジャンボ竹太鼓に挑戦中！」ぞら組(5歳児)



「おやつのおもろこしは自分たちでむぎます」(4・5歳児)



在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

第26回 全国の集いin長崎おおむら2020

ちゃんと決めんば、自分の最期

～すべての人に最期はくる 地域で育む人生会議～



メインシンポジウムでは、第一部として、在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク単独の最後の開催となり、過去 25 回の全国の集いの総括を行いたい。

第一部「在宅医療が広がらなかったのはなぜか？在宅医療への取り組みからの自己総括と今後への課題」

【シンポジスト】

黒岩 卓夫：在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク元会長

苛原 実：在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク元会長

辻 哲夫：元厚生労働省事務次官、東京大学高齢社会総合研究機構、未来ビジョン研究センター客員研究員

大石佳能子：株式会社メディヴァ代表取締役社長

【司会】

石田 賢二：在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク 全国の集い in 長崎おおむら 大会長



事務局 介護主任
高橋 由香

昨年開催予定の長崎大会が1年延期となり2021年9月19日・20日開催されます。例年、萌気会はこの大会に参加しており、コロナの影響がなければ、長崎入りでプチ観光込みの研修予定でしたが、フルリモートでの開催でZOOM参加となります。この大会は、全国から多くの医療・介護関係者が集まり、サービスの質の向上のため、日々取り組んでいる事例の報告と課題を共有し、新たな取り組みへの情報収集の場となっています。大会参加への切符を手に入れるには、各事業所での取り組みを萌気会・桐鈴会の合同研究発表会で発表し経営陣と全職員の投票により選任されるのですが、今年度は「密」を避け萌気会単独でYOUTUBE（萌気会・職員専用チャンネル）配信にて視聴し投票となりました。今回、大会に参加される介護事業所の3名の演題の概要を得票順にご紹介します。



1. 演 題：ワクワクトークを通して ～利用者さんの変化について～

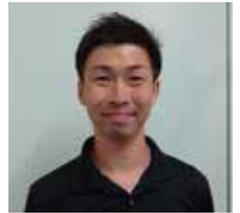
発表者：上村 喜春（萌気園大和通所介護「地蔵の湯」 介護福祉士）

- ・地域医療を支えた黒岩卓夫医師と苦楽を共にした住民の半世紀に渡る交流を基に回想法を用いた利用者参加型「ワクワクトーク」ショーを実施。思い出話に花が咲き利用者の心に変化が。また、職員と利用者のコミュニケーションの一助にもなりました。

2. 演 題：天気と認知機能について

発表者：山田 春樹（萌気園通所リハビリセンター浦佐 理学療法士）

- ・高齢者との日々の関わりで天気が心身に影響を及ぼす事例をよく見かけるが、天気と認知機能の因果関係は？長谷川式簡易知能評価スケールを基に調査・研究を実施。課題から今後の面白い研究に発展する可能性がみえてきた。



3. 演 題：新型コロナウイルス感染症をのりきりたい

～小規模多機能事業所だからこそできた取り組みと課題～

発表者：岡本 さとみ（萌気園小規模多機能ホーム さくりの郷 介護支援専門員）

- ・コロナ禍で事業所の特性から通い・訪問・泊りの3つのサービスを制限することなく調整のみで「絶え間ないサービス提供」を可能にした取り組みと課題の報告。小規模多機能ならではのメリット・デメリットについて解説しています。



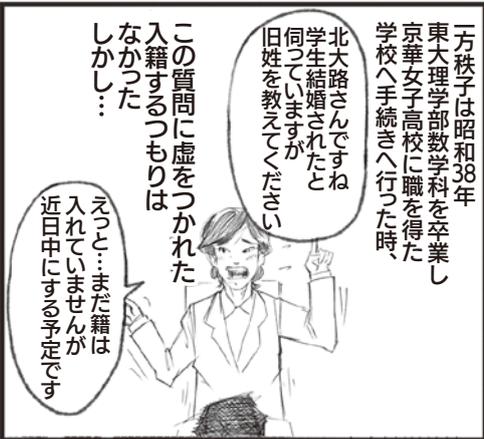
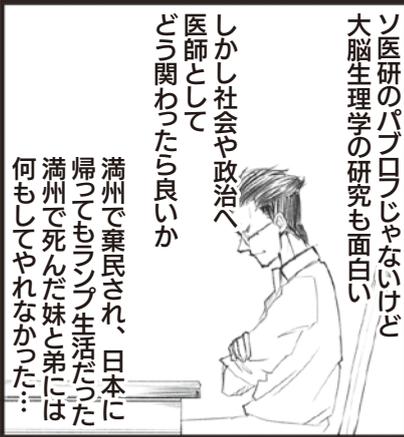
職員投票での評価は、僅差でいずれも高評価でした。特に地蔵の湯の演題は、「黒岩卓夫先生の歩み」＝「萌気会の歴史」である事から若手職員の気づきや誇りにも繋がったようです。

今後も萌気会では、この様な取り組みを行い地域の皆さんに安心してご利用いただけるように日々の研鑽に努めて参ります。

また、職員のスキルアップ支援に仕組み、個々の個性を生かしつつ自信を持って働き続けられる環境作りを提案します。

第12話
医師と教師
になった2人

昭和37年卒業
1年間インターンを経て
38年医師免許証を取得した



卓夫の医学研修は、医科研外科から青梅市立総合病院へ友人の手を借りながら内科医として勤務。メチャクチャ仕事したと思う。青梅市の奥行は深く、山梨県境に達し、患者さんは山梨県の山村からもやってきた。神経系や内分泌系に興味を覚えた。2年間の研修で越後に向かうことになる。

お客様に**安心**してご利用していただく為に



当館では、新型コロナウイルス対策としまして下記の取り組みを実施しております。

今現在、**緊急事態宣言発令地域**の方々は日帰り入浴・宿泊共に、お断りしております。

脱衣場では密にならないように対策を行っております。

緊急事態宣言が解除された折には、皆様のお越しを心よりお待ちしております。

代表 上村 光男
支配人 田村 智子

スタッフの衛生管理と体調管理に関して

- すべてのスタッフにマスクの着用を義務付けております
- すべてのスタッフが出勤時の体調・体温チェック、各自の自宅での体調チェックを行っております
- 万が一、発熱などの症状がある場合は、症状が十分改善されるまで、出勤を見合わせることにしております
- すべてのスタッフがこまめな手洗い、うがいを励行しております

お客様へのお願い

- ご旅行前には検温などの体調チェックを行っていただき、発熱がある場合や風邪症状がみられる場合には、ご旅行をお控えください
- ご旅行中には「新しい旅のエチケット」をご実施ください。「新しい旅のエチケット」パンフレットはフロントでもご用意しております
- チェックイン時に、全てのお客様を対象に検温を実施しています。37.5度以上の発熱や風邪症状が認められた場合、保健所の指示に従い、ご宿泊をご遠慮いただく場合がございます
- 館内ご利用のお客様には、パブリックスペースでのマスクの着用をお願いいたします
- 日帰り入浴全てのお客様は、入館時に検温、連絡先の記入をお願いいたします
- 3密回避策をはじめ、感染予防に関してご理解とご協力をお願いいたします



さくら温泉
夏の感謝祭
令和3年8月22日(日)、日頃の感謝を込めて、温泉入浴回数券の特別販売及び、たこ焼き、かき氷、唐揚げ、おにぎりなどを販売しました。販売は新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し持ち帰りとした。大勢の皆様に来て頂き感謝いたします。新型コロナウイルス感染症拡大の中で夏祭りイベントとして盛大に行う事は出来ませんでした。今出来る事をさせて頂きました。先着順ではありましたが、温泉入浴回数券を購入の方に景品が当たる抽選に参加いただきました。大変好評の様子でした。

まだまだ終息を見ない新型コロナウイルスですが、早く収まって欲しいものです。秋の収穫祭が例年通り盛大に開催できることを切に願います。

また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で日帰り入浴、宿泊共にご不便をおかけしており大変申し訳ありません。早く通常の日常に戻る事を切に願います。

尚、今回の感謝祭も密にならないように感染対策を十分に行い実施致しました。

普光寺に「みんなの冷蔵庫」を 設置したい!プロジェクト



実行委員長 黒岩 卓夫

実行委員
上村 光男

高屋肖哲の「千児観音」チャリティー美術展 第2弾「みんなの冷蔵庫」「お寺食堂」開催

新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会から一定の距離をとり、ひっそりと息をひそめて暮らしている母と子に経済的困窮という大きなダメージを与えています。現在、南魚沼市では約一六〇世帯が生活保護を受けています。しかし、この中に母子世帯が含まれていることは極めて少なく、年度によってはゼロであることが分かりました。南魚沼市地域の母子世帯が他の地域に比べ収入が多く、生活に困っていないということは考えにくいと思います。むしろ、生活を切り詰めて何かと凌いでいると考える方が納得的ではないでしょうか。この状況に対して何らかの支援はできないものかと考え、高屋肖哲の「千児観音図」を通して母と子の「きずな」をテーマに第1弾、高屋肖哲の「千児観音」チャリティー美術展を池田記念美術館で行いました。ご来館いただいた皆様からの善意のチャリティー募金額は16万9720円にのぼり、クラウドファンディングや個人・企業からの協賛金により180万円という善意が集まりました。皆様からの善意は障がい児の支援へ充てさせていただきま

す。また、本チャリティー活動の第2弾への活用また、その後チャリティー活動の資金とさせていただきます。



8月21日(土)第2弾「みんなの冷蔵庫」「お寺食堂」のイベントを普光寺にて行いました。*「みんなの冷蔵庫」は必要な食料や日用品を自由に受け取れる仕組みです。普光寺樺沢賢正住職のご厚意により、普光寺に一台設置させていただきました。

樺沢賢正住職のお勤めでは「みんなの冷蔵庫」に込めた参加者の思いを御本尊様に祈りとして報告、お願いをしていただき、人が互いに助けあい生きていくことの大切さを、あらためて皆で共有することができました。黒岩卓夫実行委員長のレクチャーでは「みんなの冷蔵庫」の南魚沼地域での役割、地域に根付かせ継続して行く意義・決意を聞けました。

食料や日用品はチャリティー美術展での収入の他、南魚沼市社会福祉協議会様、医療法人社団萌気会関係各所よりご寄付をいただきました。お米や野菜、お菓子里に飲料水等沢山の食品が集まりました。心より御礼申し上げます。

「お寺食堂」はカレー&ミニパフェ、もち豚ステーキ・ウィンナーソーセージをテイクアウトで提供しました。やまちくショップ社長山田様、桐生工業(株)白川様等たくさんのボランティアの方に支えられ、多くの方々に支援を行うことが出来ました。

お子様連れのお母さんがお子様と共に両手いっぱい野菜やお菓子、カレー、ミニパフェ、もち豚ステーキ&ウィンナーソーセージを嬉しそうに持って帰る姿がとても印象的でした。

お互いさまの気持ちを忘れずに、この活動を継続的に行い地域の皆様のお役にたつという使命を抱く大切な一日になりました。

実行委員 田中 伊織



Moegi100年プロジェクト 魚沼にもっとワクワクを

若者オンライン ミーティング



プロジェクトリーダー
萌気園リハビリセンター浦佐 諸橋 滉哉

皆さんこんにちは!!リハビリセンター浦佐の諸橋です(「グッバイ宣言」のポーズ)
現在萌気会で働く10代20代の職員を対象(16名中6名が参加)に「若者オンラインミーティング」を行いました。仕事について思っていることや、考えていること、意見交換等行いました。話すことが得意な人、苦手な人、物事を考えるのが得意な人、苦手な人がいる

と思いますが、全員自分の思っていることを話してくれて、意外と盛り上がり?して楽しく、いいミーティングだったと思います。

今回オンラインという形で集まり、初めて話す人や久しぶりに顔を合わせる人もいて、皆さん緊張していたと思いますが、楽しく充実した時間だったと思います。南魚沼市でも若い人が少なく、各企業が人材獲得、育成に力を入れています。萌気会でも若い人が楽しく、辞めずに働ける環境を作っていきたいと思います。

テーマ紹介

テーマ① 仕事について

仕事についてですが、みなさん利用者さんと関わるのが好きで楽しいという意見がたくさん出ました。利用者さんと関わっていく中で名前を覚えてもらったり、「ありがとう」と言ってもらえることが嬉しかったり、やりがいになるという意見も多かったです。

テーマ② 南魚沼市について

皆さんは南魚沼市についてどういう印象がありますか?お米が美味しい、自然が豊か、いろいろあると思います。今回出た意見は、子どもが遊ぶ場所が多い、逆に若者が遊ぶ場所がない、ファミレスがないからほしい(ガスト、サイゼ)等いろいろ意見が出ました。確かにファミレスはほしいですね!

参加者の感想

- 若い人が意外と多くてびっくりした
- 他の事業所の同世代の人の意見を聞いて良かった
- なかなか集まることかはないので、いい機会になった
- みんないい子でした
- いろいろな意見があつて今後の参考にされた



萌気会・南魚沼市を盛り上げたい!と思っている10代20代の職員!
とても貴重な機会です。次回は是非ご参加ください。

ご長寿おめでとうございます

ハイマートハイム島田



高橋キクノさん
103歳



志太カツさん
101歳

コム・ソフィ&ナース



高村クニさん
100歳

職員が踊りを披露してお祝いしました

他の利用者さんと一緒に
手作りケーキでお祝いしました

うちの利用者さん

萌気園通所リハビリセンター浦佐

先生!歩きたい!と通所リハビリセンター浦佐に通っている市戸さん!年齢はなんと97歳!

今年の3月体調不良にて歩行状態が悪化し、4月には歩行器ごと転倒。移動は車椅子になってしまいました。もう歩行はできないか・・・

でも、市戸さんは違いました。「歩かせて!!」と訴えてきます。

体調をみながら歩行練習を開始。最初はほんの数歩。動きに力強さはないものの目の輝きは違いました。徐々に5m、10mと距離を伸ばし、今ではハイマートでも食堂に向かう時、見守りのもと歩いています。

どうしてそんなに頑張れるのか市戸さんに聞いてみました。

「生きることは辛いですよ。でも歩きたい!そして東京と宮崎にいる娘に会いたい。」と。そして「みんながお世話をしてくれてありがたい。息子や先生たちに良くしてもらって本当にありがたい。私は人に恵まれている。」と常に感謝の気持ちを忘れない市戸さん!リハビリ担当の私は、辛くてもあきらめない意志の強さに驚愕しています。

ぜひ、娘さんに会えることを楽しみに、これからもリハビリを続けて欲しいですね。

リハビリセンターは『あなたの笑顔とその1歩を応援します!』

通所リハビリセンター浦佐 リハビリ担当 今井 大志



利用者 市戸 幸子さん

萌気園大和通所介護 「地蔵の湯」

私たち厨房は、利用者さんに「美味しい」と言ってもらえる食事提供をモットーに、精いっぱい心を込めた食事を作っております。

地蔵の湯は手作りの食事が多いことが魅力です!目でも気を遣っております。そして、おやつは誕生会や季節にちなんだおやつを提供し、皆様に楽しんでいただけるよう工夫しております。

これからも、利用者さんに喜んでもらえるような食事提供をしてまいります。

厨房 水落 富江



南魚沼の花々(8月～9月)



編集後記

萌気園浦佐有料老人ホーム「ハイマートハイム島田」 星光

百歳になられる方々のお祝いに立ち会う機会があります。長生きの秘訣をお聞きしますが、照れて笑われるだけでまだ教わる事ができていません。いつかその秘訣について教えていただける日が楽しみです。まだ百歳までは行かなくても健康で長生きされている方々が大勢いらっしゃいます。食生活に気をつける・適度な運動をする・規則正しく生活する・お昼寝をする・テレビドラマや歌番組を見て楽しく過ごす等、人

それぞれ色々な秘訣?があるようです。

まだまだ暑い日が続きます。日中は気温が高くなるので出来るだけ日差しを避け、こまめに水分と適量の塩分を摂取する等の対策を取りましょう。夜間も注意が必要になると思いますので、エアコンや扇風機等を使用して適度に温度調節を行いましょ。

熱中症への対策を取って今年の暑い夏も乗り越えましょ。